

(別紙1)

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業実績報告書

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔鹿児島県教育委員会〕

1 事業実施期間 平成25年4月23日～平成26年3月25日

2 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	東串良町立東串良中学校	7(1)	182
連携校 (拠点校中学校区 内の小学校)	東串良町立池之原小学校	9(1)	242
	東串良町立柏原小学校	7(1)	100
		()	
		()	

※学級数の()には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

3 意識調査(アンケート共通項目)

(%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをすることは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	176	63.0	24.3	8.1	4.6	69.9	21.5	4.6	4.0	21.5	54.6	19.2	4.7	23.7	58.4	13.9	4.0
		前年②	176	58.1	32.9	6.6	2.4	70.1	20.4	6.0	3.6	30.5	44.9	21.0	3.6	17.4	57.5	19.2	6.0
		本年①	182	60.1	27.7	9.8	2.3	63.0	28.9	5.8	2.3	24.9	49.1	23.7	2.3	26.6	57.8	13.9	1.7
		本年②	183	59.3	31.4	6.4	2.9	61.0	29.1	7.6	2.3	30.8	47.1	16.3	5.8	27.3	51.2	18.6	2.9
	3	中2①	54	45.3	32.1	11.3	11.3	58.5	28.3	7.5	5.7	9.6	57.7	25.0	7.7	11.3	66.0	17.0	5.7
		中2②	54	46.9	38.8	12.2	2.0	55.1	24.5	16.3	4.1	8.2	59.2	28.6	4.1	10.2	61.2	22.4	6.1
		中3①	54	43.8	37.5	14.6	4.2	41.7	47.9	8.3	2.1	6.3	58.3	35.4	0.0	8.3	70.8	20.8	0.0
		中3②	54	28.3	60.9	6.5	4.3	34.8	47.8	15.2	2.2	6.5	50.0	34.8	8.7	8.7	73.9	13.0	4.3
	2	中1①	70	70.6	26.5	2.9	0.0	80.9	14.7	0.0	4.4	27.9	54.4	16.2	1.5	36.8	50.0	10.3	2.9
		中1②	70	57.6	36.4	3.0	3.0	72.7	21.2	0.0	6.1	34.8	40.9	21.2	3.0	16.7	56.1	21.2	6.1
		中2①	70	59.4	26.1	11.6	2.9	68.1	24.6	4.3	2.9	27.5	46.4	21.7	4.3	21.7	55.1	18.8	4.3
		中2②	71	63.8	21.7	11.6	2.9	65.2	26.1	7.2	1.4	31.9	47.8	13.0	7.2	26.1	49.3	21.7	2.9
	1	小6①	59	72.9	22.0	3.4	1.7	62.7	23.7	10.2	3.4	42.4	42.4	11.8	3.4	42.4	44.1	11.8	1.7
		小6②	59	83.1	10.2	5.1	1.7	78.0	13.6	6.8	1.7	67.8	22.0	8.5	1.7	49.2	32.2	15.3	3.4
		中1①	58	75.0	21.4	3.6	0.0	75.0	17.9	5.4	1.8	37.5	44.6	16.1	1.8	48.2	50.0	1.8	0.0
		中1②	58	78.9	19.3	0.0	1.8	77.2	17.5	1.8	3.5	49.1	43.9	5.3	1.8	43.9	35.1	19.3	1.8
小学校	高学年計	前年①	118	65.5	25.0	8.6	0.9	69.8	20.7	6.9	2.6	42.2	39.7	14.7	3.4	36.2	43.1	16.4	4.3
		前年②	118	74.1	12.9	9.5	3.4	75.9	13.8	7.8	2.6	53.4	27.6	16.4	2.6	41.7	36.5	15.7	6.6
		本年①	104	64.1	24.3	6.8	4.9	65.0	22.3	10.7	1.9	39.8	31.1	23.3	5.8	40.8	42.7	12.6	3.9
		本年②	104	52.5	36.6	6.9	4.0	61.4	28.7	9.9	0.0	32.7	42.6	18.8	5.9	34.7	45.5	15.8	4.0
	6	小5①	59	57.9	28.1	14.0	0.0	77.2	17.5	3.5	1.8	42.1	36.8	17.6	3.5	29.8	42.1	21.1	7.0
		小5②	59	64.9	15.8	4.0	5.3	73.7	14.0	8.8	3.5	38.6	33.3	24.6	3.5	33.9	41.1	16.1	8.9
		小6①	58	71.9	21.1	3.5	3.5	70.2	21.1	8.8	0.0	36.8	31.6	28.1	3.5	42.1	43.9	12.3	1.8
		小6②	58	46.6	44.8	3.4	5.2	53.4	32.8	13.8	0.0	31.0	39.7	25.9	3.4	31.0	50.0	15.5	3.4
	5	小5①	46	54.3	28.3	10.9	6.5	58.7	23.9	13.0	4.3	43.5	30.4	17.4	8.7	39.1	41.3	13.0	6.5
		小5②	46	60.5	25.6	11.6	2.3	72.1	23.3	4.7	0.0	34.9	46.5	9.3	9.3	39.5	39.5	16.3	4.7

学 校 種 類	学 年 等	実 施 時 期	児 童 生 徒 数 (人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられたりした				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせたりした			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中 学 校	全 学 年 計	本年①	182	80.9	13.3	2.3	3.5	72.8	17.3	4.6	5.2	80.3	10.4	4.6	4.6	73.4	19.1	2.9	4.6
		本年②	183	80.8	9.3	5.2	4.7	72.1	18.6	2.9	6.4	73.8	16.9	2.3	7.0	69.2	18.6	6.4	5.8
	3	中3①	54	91.7	6.3	0.0	2.1	83.3	12.5	0.0	4.2	85.4	12.5	2.1	0.0	79.2	18.8	2.1	0.0
		中3②	54	89.1	4.3	2.2	4.3	71.7	21.7	0.0	6.5	80.4	13.0	0.0	6.5	71.7	23.9	2.2	2.2
	2	中2①	70	65.2	24.6	4.3	5.8	58.0	27.5	10.1	4.3	71.0	15.9	4.3	8.7	59.4	29.0	2.9	8.7
		中2②	71	68.1	15.9	8.7	7.2	63.8	23.2	4.3	8.7	60.9	21.7	5.8	11.6	60.9	21.7	5.8	11.6
	1	中1①	58	91.1	5.4	1.8	1.8	82.1	8.9	1.8	7.1	87.5	1.8	7.1	3.6	85.7	7.1	3.6	3.6
		中1②	58	89.5	5.3	3.5	1.8	82.5	10.5	3.5	3.5	84.2	14.0	0.0	1.8	77.2	10.5	10.5	1.8
小 学 校	高 学 年 計	本年①	104	64.1	21.4	2.9	11.7	63.1	16.5	5.8	14.6	58.3	26.2	5.8	9.7	62.1	24.3	8.7	4.9
		本年②	104	74.3	15.8	1.0	8.9	59.4	26.7	3.0	10.9	70.3	21.8	5.0	3.0	55.4	30.7	8.9	5.0
	6	小6①	58	64.9	22.8	3.5	8.8	64.9	19.3	7.0	8.8	49.1	29.8	10.5	10.5	52.6	29.8	15.8	1.8
		小6②	58	74.1	19.0	1.7	5.2	58.6	27.6	5.2	8.6	65.5	27.6	5.2	1.7	48.3	36.2	12.1	3.4
	5	小5①	46	63.0	19.6	2.2	15.2	60.9	13.0	4.3	21.7	69.6	21.7	0.0	8.7	73.9	17.4	0.0	8.7
		小5②	46	74.4	11.6	0.0	14.0	60.5	25.6	0.0	14.0	76.7	14.0	4.7	4.7	65.1	23.3	4.7	7.0

※小学校は、連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施したもの

※「オ」～「ク」の項目は、平成25年度から実施

※本年度第2回(②)以外は、「ブロック協議会資料」に記載した数値を記入

4 課題・目標・取組

課題	交友関係や学業不振，家庭環境等に起因する学校不適應や不登校が多い。中学1年時の学校不適應が多く見られる。
目標	集団の中で他者との関わり合いを深め，豊かな人間関係を築き，学ぶ喜びや自己有用感をもつことができる児童生徒を育成する。
取組	小・中，小・小合同の教育活動及び家庭・地域と連携した支援体制づくりを推進し，分かる授業の実践や豊かな人間関係づくりに努める。

5 重点推進事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> ① 小・中学校間の相互授業参観や中学校教師による出前授業，小学校6年生を対象とした夏季休業中の部活動体験等，2小1中で具体的な小・中連携の取組を行うことで，小・中の円滑な接続を図る。 ② 『教室こそ子どもの居場所である』ととらえ，「学ぶ喜び」につながる「わかる授業」，「主体的に学び合う授業」の実践に努める。 ③ 学年・学級の実態に応じて，自己有用感を高める特別活動や道徳の時間等を充実させることで，豊かな人間関係を培う。 ④ 地域行事や校区コミュニティ活動との積極的な連携を進め，地域の教育力を生かした支援体制づくりを推進する。
中学校	① 学校行事や生徒会活動，部活動等で，一人一人が生き生きと活躍できる場を保障することで，自己有用感や自己肯定感を高める。
小学校	① 学習指導・生活指導・保健指導・基本的な生活習慣・家庭学習・行事の合同開催など，小・中連携を密にした共通実践の在り方やその推進について具体的な検討を行う。(全校)

6 意識調査結果の分析と考察

成 果	成果があがったと考えられる主な理由
<p>① 「学校が楽しい」の項目で、肯定的な回答(「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」)が、小・中学校ともに3回目から4回目にかけて増加した。</p> <p>② 「授業に主体的に取り組んでいる」の項目で、肯定的な回答が小・中学校ともに3回目から4回目にかけて増加した。</p> <p>③ 中学校全体で見ると「授業がよくわかる」の項目で、「当てはまる」と答えた生徒の割合が2回目以降増加した。</p> <p>④ 「学校が楽しい」、「みんなで何かをするのは楽しい」の項目で、2回目以降、中学1年生の75%以上が「当てはまる」と回答し続けている。</p>	<p>① 諸活動や学校行事等で、「誉める・認める・励ます」関わりや「全員参加」、「一人一役」の取組を共通理解・共通実践したことで、多くの児童・生徒が達成感を味わうことができた。</p> <p>② 話し合い活動の時間の確保や肯定的な声かけ・賞賛など、子どもたちに主体的に学び合いたいと思わせる手立てを共通実践できるように、学習指導法に関する校内研修を充実させたり、相互授業参観の際に相互評価を取り入れたりした。</p> <p>③ 校内研修において、「わかる授業」のあり方について共通理解を行い、具体的な共通実践事項を設けた。そして、研究授業の際には、授業評価シートを活用し、指導法改善に役立てるようにした。 また、今年度「学習の手引き」を改訂し、年度初めや学期初めに学習オリエンテーションの充実を図った。</p> <p>④ 昨年度から出前授業や部活動体験等の小・中連携事業を推進してきたことや、入学当初に学校生活オリエンテーションを充実させたことで、小学校から中学校への接続がスムーズになされた。</p>

課 題	課題として残ったと考えられる主な理由
<p>① 「みんなで何かをするのは楽しい」の項目で、「当てはまる」と回答した子どもの割合が、小・中学校ともに3回目から4回目にかけて減少した。</p> <p>② 「学校が楽しい」の項目で、「当てはまる」と回答した中学3年生の割合が4回目は大きく減少した。</p> <p>③ 「授業がよくわかる」の項目で、中学1年生の肯定的な回答が3回目から4回目にかけて大きく減少した。</p> <p>④ ア～エのすべての質問項目で、6年生の「当てはまる」の回答が3回目から4回目にかけて大きく減少した。</p>	<p>① 学校行事等で味わうことができた達成感をその後の生活の意欲につなげる手立てが不十分であった。</p> <p>② 受験が近づくにつれ、受験に対する不安から、学校生活に対する満足感や自分に対する自信をもつことができない中学3年生が増えてきた。</p> <p>③ 徐々に難しくなっていく学習内容に対し、理解に困難を感じ始めた中学1年生が増えてきた。</p> <p>④ 旧担任と新担任との引き継ぎが不十分でなく、担任による児童の実態把握が不十分であった。その結果、児童の実態に応じた指導を行うことができず、授業や諸活動において十分な達成感を味わわせることができなかった。</p>

7 2年間の調査研究の成果と課題

[小・中共通]

- ① 小・中の円滑な接続(小・中連携、小・小連携等)
- 小・中連携事業や中学校入学時の生活・学習オリエンテーションを充実させ

たことで、小学校から中学校への接続が円滑になされた。

- 学習・生活・保健指導における2小1中の共通実践事項を作成することができた。
- ② 「わかる授業」、「主体的に学び合う授業」の実践
 - 話し合い活動の時間の確保や肯定的な声かけ・賞賛など、子どもたちに主体的に学び合いたいと思わせる手立てを共通実践したことで、「授業に主体的に取り組んでいる」と感じている児童・生徒が増えた。
 - 意識調査で「授業がよくわかる」と回答する児童・生徒を増やすことができなかった。2学期以降、授業規律にややゆるみが見られことや、共通実践事項の実践が普段は各教員の実践に預けられているため、共通実践が確実になされていないことなどが原因として挙げられる。
- ③ 豊かな人間関係づくりの推進
 - 仲間づくりのエクササイズや人権集会、縦割り活動を計画的に実施したことで、友人との望ましい人間関係を円滑に構築できる児童・生徒が増えた。
 - 学級や学年の実態に応じて児童・生徒の悩みを取り除くための手立てが十分でなかったため、自己有用感や自己肯定感を十分に高めることができなかった。
- ④ 地域の教育力を生かした支援体制づくり
 - 中学生が地域行事へ、そして小学生・地域住民が中学校の行事へと、双方向の乗り入れを行えるように工夫したことで、地域における小・中・地域住民の三者連携を推進することができた。
 - 町の社会教育行事に関する啓発や部活動・スポーツ少年団活動等との日程調整がうまくいかなかったため、児童・生徒の参加率を高めることができなかった。

[中学校]

- ① 自己有用や自己肯定感を高める活動
 - 学校行事、生徒会活動等で、一人一人に活躍の場を与え、賞賛する取組を進めたことで、多くの生徒が達成感を味わい、自信を深めることができた。
 - 行事後の自己評価、集団での評価を生徒にフィードバックする手立てが不十分であったため、その後の生活の意欲につなげていけない生徒が見られた。

[小学校]

- ① 小・小連携の推進
 - 町内の小・中学校の全教員が参加する合同研修会を年間3回開催したことで、中学校入学を見すえた学習・生活・保健指導における具体的な共通実践事項を作成することができた。また、小・小合同活動の開催を実現することができた。

8 取組内容

(1) 月別実施内容

※「実施状況」の欄は、次の記号で取組内容ごとに示す。

- ・・・予定どおり実施
- △・・・時期を変更して実施又は実施予定
- ◇・・・計画書にはないが新たに実施
- ×・・・実施しなかった

<平成24年>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	いじめ問題について考える授業(全小, 全学年)	○	学校生活オリエンテーション(全学年) 第1回小・中連絡協議会(小・中) 第1回連絡協議会〔東京〕(小・中) いじめ問題について考える授業(全学年)	○ ○ ○ ○

5月	第1回意識調査(全小, 5・6年) 教育委員会訪問(池之原小学校)	○ ○	第1回小・中連携部会 第2回小・中連絡協議会(小・中) 第1回意識調査(全学年) 第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中)	○ ○ ○ ○
6月	教育委員会訪問(柏原小学校)	○	P T A教育講演会(全学年) 第1回相互授業参観(柏原小学校会場)(小・中)	△ ○
7月			教育委員会訪問 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 小・中合同地域P T A【小中合同】 小・中合同教育講演会【小中合同】	○ ○ × △
8月	啓発資料作成 研修視察	△ ×	第3回小・中連絡協議会(小・中) 部活動体験(小6対象)【小中合同】 啓発資料作成 研修視察(茨城県潮来市立潮来第一中学校) 東串良町小・中学生夏合宿「サマーアドベンチャー」 【小中合同】	○ ○ △ ◇
9月	いじめ問題について考える授業(全小, 全学年)	○	いじめ問題について考える授業(全学年)	○
10月			西部ブロック協議会(鳥取県)(小・中) 第4回小・中連絡協議会(小・中) 第2回相互授業参観(池之原小学校会場)(小・中)	○ ○ ○
11月			出前授業(両小学校)(小・中) 研修視察(宮崎県日向市立財光寺中学校)(小・中)	○ ◇
12月	第2回意識調査(全小, 5・6年)	○	第2回意識調査(全学年) 第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 第5回小・中連絡協議会(小・中) 小中合同地域生徒会活動(ボランティア)【小中合同】 東串良町小・中学生冬合宿「冬季スケート体験」 【小中合同】	○ ○ ○ ◇
1月			中学校体験活動及び入学説明会【小中合同】	○
2月			第2回連絡協議会(東京)(小・中) 第4回魅力ある学校づくり調査研究委員会(小・中) 第6回小・中連絡協議会(小・中)	○ ○ ○
3月			第2回小・中連携部会(小・中)	○

<平成25年度>

月	小学校における主な実施内容	実施状況	中学校における主な実施内容	実施状況
4月	いじめ問題について考える授業(全小, 全学年)	○	学校生活オリエンテーション(全学年) 第1回小・中連絡協議会【小中合同】 第1回連絡協議会(東京都) いじめ問題について考える授業(全学年)	○ ○ ○ ○
5月	第1回意識調査(全小, 5・6年) 町教育委員会訪問(池之原小学校)	○ ◇	第1回相互授業参観及び町内全教員向けオリエンテーション(柏原小学校会場)【小中合同】 第2回小・中連絡協議会【小中合同】 第1回意識調査(全学年)	○ ○ ○
6月	町教育委員会訪問(柏原小学校)	◇	第1回調査研究委員会【小中合同】	○
7月			町教育委員会訪問 P T A教育講演会(全学年)	◇ ○

			小・中合同地域生徒会活動（ボランティア）	○
8月			第3回小・中連絡協議会【小中合同】 第2回調査研究委員会【小中合同】 部活動体験（小6対象）【小中合同】 「未来を拓く鹿児島県の教育シンポジウム」における取組成果の発表【小中合同】 東串良町小・中学生夏合宿「サマーアドベンチャー」【小中合同】	○ △ ○ ◇
9月	いじめ問題について考える授業（全小，全学年）	○	いじめ問題について考える授業（全学年） 小学校運動会への役員派遣（全学年）	○ ○
10月			出前授業（体育）（池之原小学校へ） 第4回小・中連絡協議会【小中合同】 西日本ブロック協議会（香川県） 出前授業（音楽）（池之原小学校へ）	○ ○ ○ △
11月	県教育庁義務教育課訪問（池之原小）	◇	小・中合同教育講演会【小中合同】 県教育庁義務教育課訪問 第5回小・中連絡協議会【小中合同】 第2回相互授業参観（東串良中学校会場）【小中合同】	○ ◇ ○ ○
12月	研修視察（坊津学園） 第2回意識調査（全小，5・6年）	△ ○	研修視察（坊津学園） 第2回意識調査（全学年） 第3回調査研究委員会【小中合同】 第6回小・中連絡協議会【小中合同】 小中合同地域生徒会活動（ボランティア）【小中合同】 東串良町小・中学生冬合宿「冬季スケート体験」【小中合同】	△ ○ ○ ○ ○
1月	啓発資料作成	○	啓発資料作成 中学校入学体験活動及び入学説明会【小中合同】 第3回相互授業参観（池之原小学校会場）【小中合同】	○ ○ ○
2月			2回連絡協議会（東京） 第4回調査研究委員会【小中合同】 第7回小・中連絡協議会【小中合同】	○ ○ △
3月			出前授業（社会）（柏原小学校へ） 小・中連携部会（小6中1担任）【小中合同】	△ ○

（2）重点推進事項の実施状況

〔小・中共通〕

① 小・中の円滑な接続（小・中連携，小・小連携等）

5月の意識調査で、「中学校へ進学するのが楽しみだ」という項目で，小6児童の肯定的な回答が62%にとどまったのを受けて，中学校進学への期待や憧れをもたせるために有効な小・中連携事業を一層推進することとした。

具体的には，9月末の小学校運動会に出身中学生を役員として派遣し，きびきびと主体的に動く中学生の姿に触れさせたり，出前授業や中学校入学説明会当日の模擬授業を通して中学校の授業の魅力を見聞に伝えたりした。

その結果，12月の意識調査では，肯定的な回答が前回と比べ増加した。（5年18.4ポイント，6年4.1ポイント）

（図1）（図2）



図1 小学校運動会への役員派遣



図2 体育の出前授業

- ② 「わかる授業」, 「主体的に学び合う授業」の実践
5月の意識調査で「授業に主体的に取り組んでいる」, 「授業がよくわかる」の項目で自己評価が低かったことを受けて, 各校の校内研修や3校の合同研修会で具体的な対策を検討した。その中で, 「子どもたちが主体的に学び合う授業」と「わかる授業」のあり方について共通理解を行い, 具体的な共通実践事項を設けた。

2小1中での相互授業参観や校内の研究授業の際には, その共通実践事項をチェックするための授業評価シートを活用し, 指導法改善に役立てるようにしている。(図3)

日時	平成25年11月28日8校時	学級	年 組	教科	教材	先生			
	課 点					評 価			
1	学習課題(ねらい)が明確にされており, 継ぎで解説されている。					4	3	2	1
2	説明や質問はコンパクトで, 生徒にとってわかりやすいものである。					4	3	2	1
3	学習課題の解決に向けて着目性のある学習活動が設定されている。 (実験・観察・調べ学習・実習等)					4	3	2	1
4	生徒一人一人が主体的に参加できる差し合い活動が設定されている。					4	3	2	1
5	生徒に達成感や自信をもたせる量や質が適切に設定されている。					4	3	2	1
6	板書や教材が構造的で, 1時間分の学習内容が実感できるものとなっている。					4	3	2	1
7	振り返りの時間を設け, 本時のまとめを生徒のことで導き出している。					4	3	2	1
8	生徒に授業のルールが身についている。(授業の心構え意識)					4	3	2	1
自由記述									
4:十分満足 3:おおむね満足 2:やや不十分である 1:意識して努力する必要あり									
記入者: 小学校教員・中学校教員・幼稚園教員・保育園保育士・その他									

図3 授業評価シート

- ③ 豊かな人間関係づくりの推進

豊かな人間関係を培うための「絆づくり」の取組をそれぞれの学校で計画的に実施した。

中学校では学年集会で仲間づくりのエクササイズを月1回実施した。時期や学年の実態に応じて学年生徒会で内容を選定した。小学校でも, 縦割り班によるふれあい活動や清掃活動に加え, 人権集会を学期1回実施した。

このような取組を通して, 友人との望ましい人間関係を構築できたと感じた児童・生徒が多かった。(図4)



図4 学年集会でのエクササイズ(中学校)

- ④ 地域の教育力を生かした支援体制づくり

長期休業中の取組として, 地域清掃を中学生と小学5・6年生が合同で行った。年少の兄弟姉妹や保護者・地域住の参加も得られ, 地域を舞台にした有意義な交流の場となった。(図5)

また, 町の夏祭りや相撲大会, 町民運動会等に, 部活動や少年団単位で積極的に参加し, 地域との交流を図った。



図5 地域ボランティア

[中学校]

- ① 自己有用感や自己肯定感を高める活動

夏季休業中から始まる体育大会に向けた準備や応援練習, 文化祭に向けた準備・練習などで, 「一人一役」をもたせた取組の指導を行った。一人一人に活躍の場を与え, 賞賛する取組を通して, 夏季休業明けに学校不適応の兆候を示した1年生4名も達成感や自信を深め, 順調に登校できるようになった。(図6)



図6 上級生による全校応援の指導

[小学校]

- ① 小・小連携の推進

年3回の合同研修会において, 学習指導・生活指導・保健指導の具体的な共通実践事項の進め方について確認を行った。

また, 2月に両小学校の6年生による合同体育の授業を実施した。中学校入学前に児童どうしで親睦を深め, 打ち解け合い, 入学後の人間関係に関する不安を払拭することができた。(図7)



図7 小・小合同活動

9 事業担当者の活動

(1) 活動内容

実施要項の該当箇所		活動内容
4 (1) 事業全般		不登校の未然防止につながる方策の検討と推進 魅力ある学校づくり調査研究委員会の開催 小・中連絡協議会の開催 親子教育講演会の開催
4 (2)	小・中連携	小・中連携事業（相互授業参観，出前授業，部活動体験，小・中合同地域生徒会活動，入学体験活動等）の企画・推進 小・中合同研修会の開催
	小・小連携	共通実践事項の進め方の検討 小・小合同活動の開催
4 (3) データ収集、分析等		意識調査の実施，集計，分析，対応の検討
4 (4) 取組の評価		評価項目の検討，評価の実施及び分析
4 (5) 資料作成、広報等		学校便り，PTA新聞，学年・学級通信による広報及び啓発リーフレットの作成 横断幕・のぼり旗の作成 「未来を拓く鹿児島県の教育シンポジウム」における発表

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・ 2小1中の全教員が参加する相互授業参観と合同研修会を年3回実施したことで，9年間を見通して子どもたちの指導にあたることの重要性を全教員で確認し，2小1中における具体的な共通実践事項を作成することができた。
- ・ 様々な小・中連携事業を推進したことで，小学生の中学校進学への見通しと意欲をもたせることができ，小・中の接続を円滑に行うことができた。

<課題>

- ・ 小・中連携事業の活動と町の社会教育行事，部活動等の日時が重なってしまうことがあり，小・中連携事業へ参加できない児童・生徒がいた。各方面の行事や活動が重ならないように実施日を調整することが不十分であった。

10 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

[重点推進事項]

- ・ 予算上の措置：予算に係る学校との打合せを密にして，共同で行う。
- ・ 運営への協力：事業に係る取組を，町教委の主催行事として位置付ける。
- ・ 広報・啓発：町の広報誌に本事業の紹介紙面を設けて連載する。
- ・ 教育課程への位置付け：一連の取組を，各学校の教育課程に明記する。
- ・ 平成26年度に向けた体制づくり：次年度以降に継続できるよう調整を図る。

[課題と成果]

- 学校の運営負担や事務負担を軽減することができた。
- 県教育委員会や県教育庁大隅教育事務所と一体となった指導や助言を行い，事業の充実を図ることができた。
- 広報誌での情報発信を通して町民から直接に感想や意見等を得ることができた。

- 関連の諸行事を、各小・中学校の年間行事計画に組み入れ、時数確保や欠時対応、全教職員の参加体制づくり等を行うことができた。
- 三学期に、児童生徒及び教員の連携に係る具体的な交流行事を、4回設けることができた。
- 平成26年度以降の校内体制や、小・中連携に係る担当者及び事務局の在り方等について、基本となる枠組みの申し合わせを行うことができた。
- 一つ一つの取組が、不登校未然防止に向けた教育環境づくりとどのように結びついているかについて、個々の検証ができていない。
- 自己有用感を高める特別活動の充実や道徳の時間の充実等について、取組の評価や成果の検証に対する十分な指導ができていない。
- 地域の教育力を生かした支援体制づくりの推進について、概ね一年目の継続に留まり、新たな提案や工夫・改善等ができていない。
- 学校参観や授業公開等による成果発表・還元等の機会を設けることができていない。

(2) 都道府県教育委員会

[重点推進事項]

- ・ 事業推進に当たっての指導

研究の進捗状況の確認、効果的な研究の推進のために、調査研究委員会等に指導主事を派遣し、指導助言を行う。また、町教育委員会に対しての日常的な指導を充実させる。

- ・ 広報・啓発

本事業の取組の概要を広報誌や県の Web ページ等で紹介し、事業成果の県下への波及を図る。

[成果と課題]

- 東串良中学校、池之原小学校を学校訪問し、不登校対策への取組や今後の方向について、指導助言を行うことができた。
- 年4回行われた調査研究委員会に指導主事を派遣し、取組や今後の方向について指導助言を行うことができた。
- 取組成果の県下への一層の波及のために、県主催の「未来を拓く鹿児島県教育シンポジウム」や県の Web ページ「教育情報かごしま」で取組状況を紹介することができた。
- 町教育委員会に対して、調査研究委員会等以外の継続的な連携や指導助言が不十分であった。

11 「魅力ある学校づくり調査研究委員会」

(1) 構成

所 属	人数	備 考 (主な職名等)
東串良町立東串良中学校	8	校長, 教頭, 事業担当者, 生徒指導主任, 各学年担任, P T A 会長
東串良町立池之原小学校	7	校長, 事業担当者, 生徒指導主任, 新旧6年担任, P T A 会長, 校区コミュニティ会長
東串良町立柏原小学校	7	校長, 事業担当者, 生徒指導主任, 新旧6年担任, P T A 会長, 校区コミュニティ会長
東串良町民生委員	2	主任児童委員
鹿児島県教育庁義務教育課	1	指導主事
東串良町教育委員会	2	教育長, 指導主事

(2) 事業推進上の成果と課題

<成果>

- ・ P T A代表者や地域代表者から、事業や、取組の成果・課題等について、建設的な意見や提言を得られた。
- ・ 校区コミュニティによる各学校での挨拶運動の実施や、両校区合同でのコミュニティによるふれあい活動の開催など、調査研究委員会がきっかけとなり、地域全体で子どもたちを見守り育てるための具体的な取組がなされた。
- ・ 県教育庁や大隅教育事務所等の担当者と直接に会うことで、学校が目指す方向について多くの示唆を得ることができた。教員のみならず保護者や地域の代表者にとっても貴重な機会となった。

<課題>

- ・ 3校のP T Aが連携した取組について、具体的な進展が見られなかった。
- ・ 地域からの提言が、学校の体制や行事の改善へと十分に生かされなかった。
- ・ 町の社会教育行事への参加を図るための手立てが十分にできなかった。
- ・ 共通4項目以外の意識調査結果について、分析や対策等を深めることができなかった。
- ・ 毎回の調査研究委員会について、各委員の思いや考えを十分に引き出すための協議の時間を、十分に確保することができなかった。

12 作成資料等

<平成24年度>

- 平成24年度リーフレット
- 「東串良の子育て」ポスター（学校・家庭での実践事項一覧）
- 小・中9箇年を見通した「目指す子供の姿」（学習面）

<平成25年度>

- 平成25年度リーフレット
- 「東串良の子育て」ポスター2版（学校・家庭での実践事項一覧）
- 「未来を拓く鹿児島県の教育シンポジウム」発表資料
- 学習の手引き改訂版
- 小・中9箇年を見通した「目指す子供の姿」（生活面を追加）

13 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

鹿児島県教育委員会 <http://www.pref.kagoshima.jp/>

東串良町役場 <http://www.minc.ne.jp/ru-pin/>

柏原小学校 <http://blog.canpan.info/kashiwakko/index-2.html>

【問い合わせ先】

所属	鹿児島県教育庁義務教育課		電話	099-286-5298	
職名	指導主事	氏名	林 耕二	よみがな	はやし こうじ